

補助線の角度指定入力

文書管理番号：1132-01

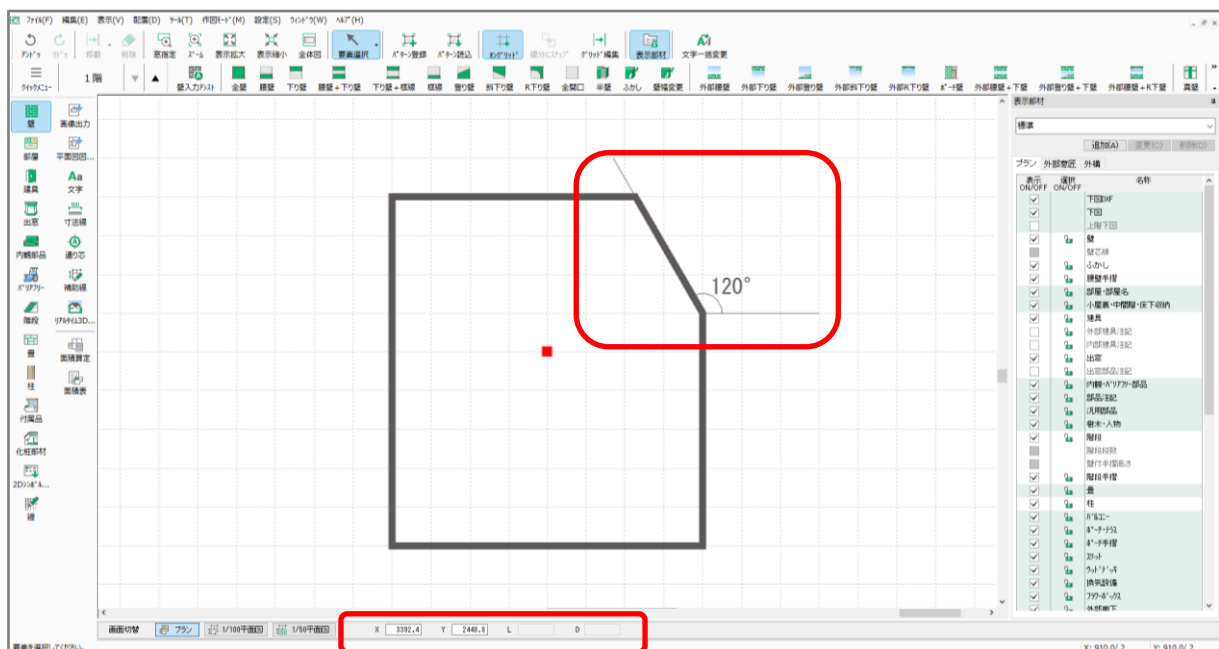
Q. 質問

プラン図や屋根伏図で、部材を入力する際に、角度を指定して入力・作図を行いたい。

A. 回答

プラン図・屋根伏図では、通常、グリッドや補助線に合わせて部材の入力や作図を行います。このとき、角度を指定して作図するには、各プログラムの画面下にある「インフォバー」の「D」欄を利用します。



ここでは、次のような形状をプラン図で入力する際に、斜めになっている箇所の壁を、指定の角度で作図する手順を説明します。

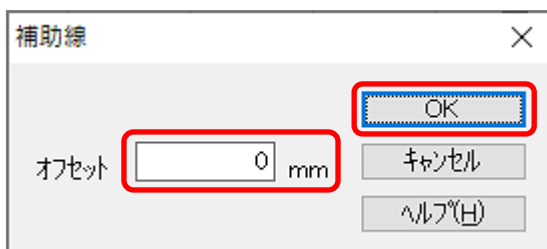


↑
インフォバー

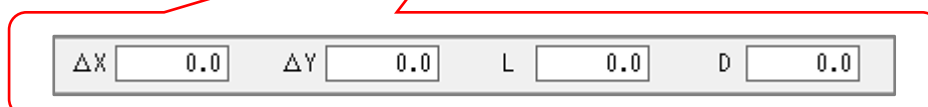
操作手順

壁を入力する前に、あらかじめ補助線を角度指定で配置します。壁を入力する際に、以下の方法で直接角度を指定することもできますが、あらかじめ補助線を配置することで、壁以外を入力時にも利用できます。

- ①  (プラン図)で、 (補助線)をクリック
- ② オフセットは「0」 mm のまま「OK」をクリック

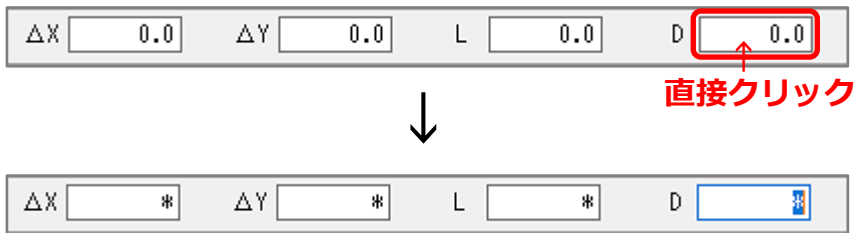


- ③ 起点位置でクリック



* プラン図の画面下のインフォバーのそれぞれの欄が「0.0」に変わります。

④ インフォバーの「D」欄を直接クリック



直接クリック

* インフォバーのそれぞれの欄が「*」に変わります。

- * 「D」欄を直接クリックする代わりに、キーボードの[Tab]キーを押すと、インフォバーの「X」欄にカーソルが移動し、インフォバーのそれぞれの欄が「*」に変わります。続けて[Tab]キーを押すと次の欄にカーソルが移動しますので、3回押しで「D」欄にカーソルを移動させます。



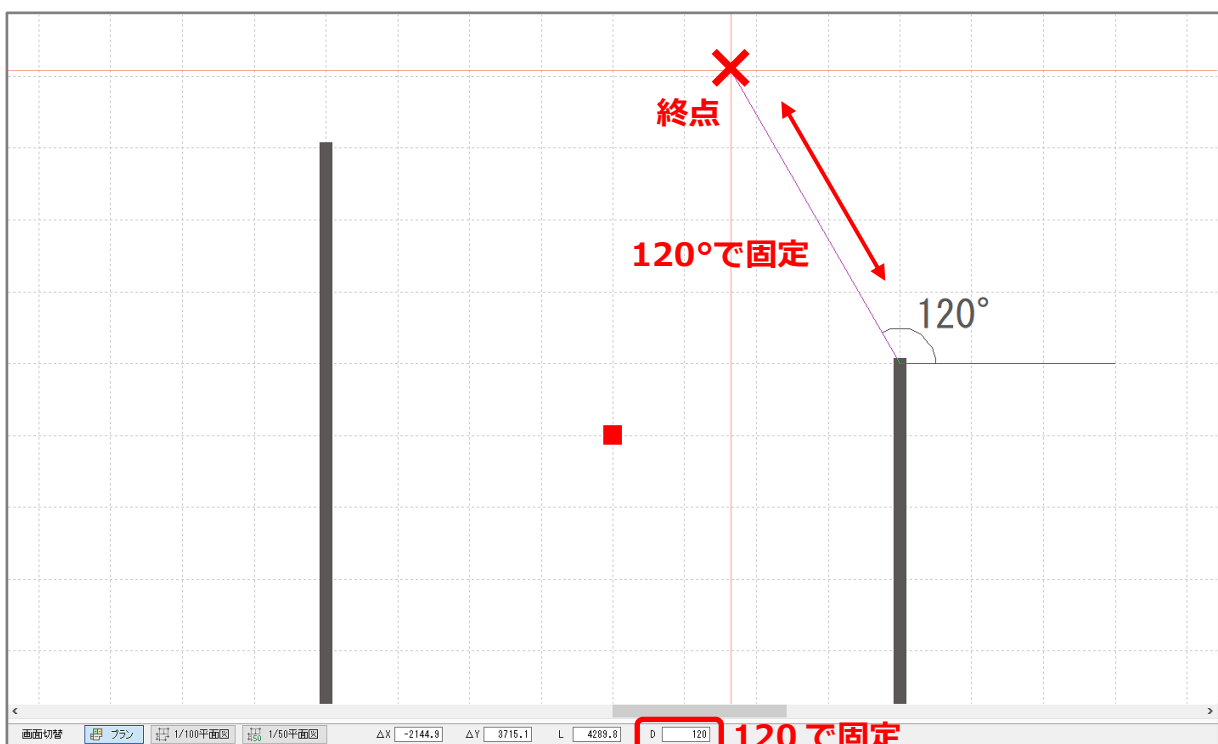
[Tab]キーを押すとカーソルがX欄に移動
⇒そのまま[Tab]キーを3回押し、D欄にカーソルを移す

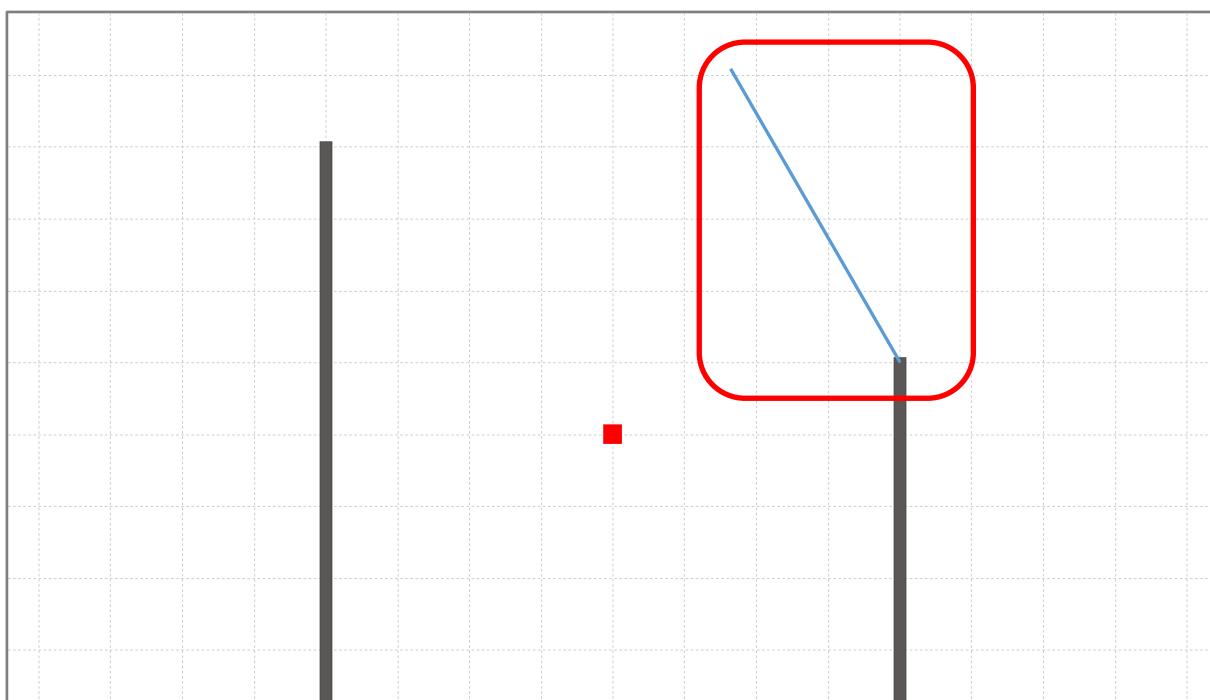
⑤ 「D」欄に角度として、半角英数で「120」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押して確定



* 指定した角度に、カーソルが固定されます。 **120 と入力⇒[Enter]キーを押す**

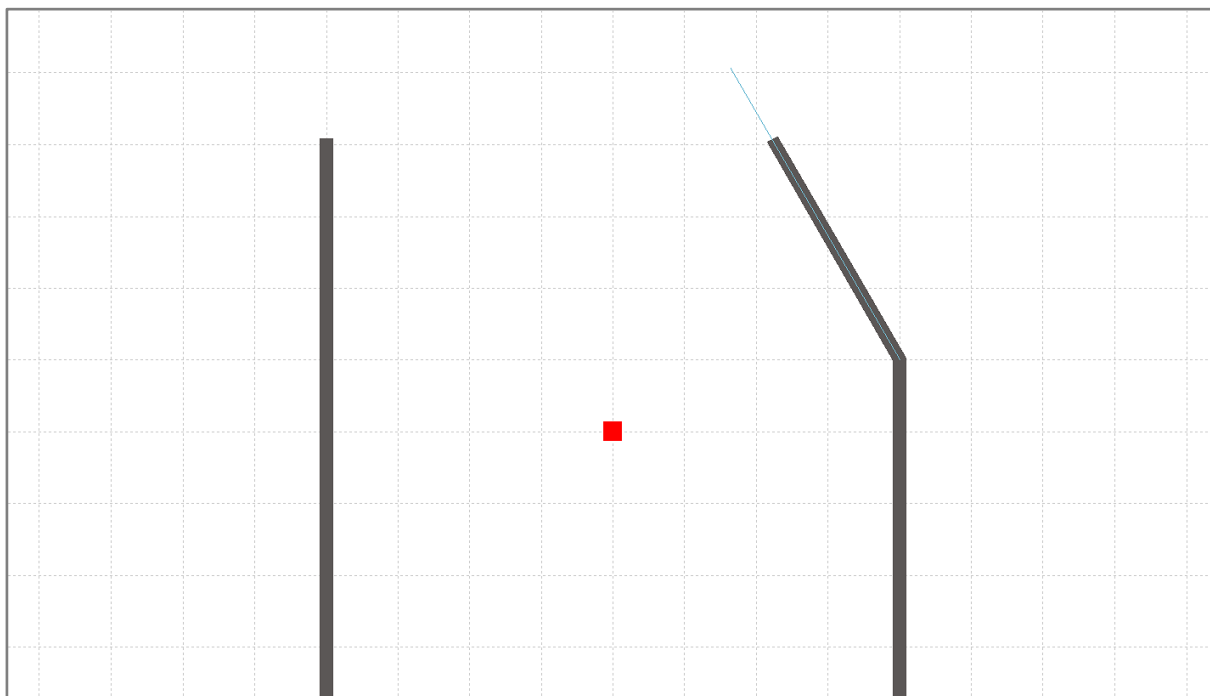
⑥ 任意の長さで、終点をクリック







* 指定の角度で補助線が入力されます。

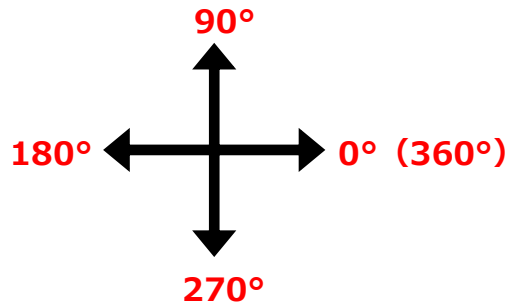
⑦ 補助線に合わせて、■(全壁)を、↙(単独配置)で入力



参考

● 角度について

A'sの (プラン図)や (屋根伏図)などでは、角度は画面に向かって右方向を「0°」とし、そこから左回り（反時計回り）に、上方向「90°」、左方向「180°」、下方向「270°」、右方向「360°=0°」となります。




● インフォバー入力の解除



インフォバーの入力欄にカーソルが移動すると、入力画面上でのカーソルの動きは固定され、動作できなくなります。

インフォバーの入力モードを解除する場合は、キーボードの[Esc]キーを押してください。

● 外構図での角度入力

 (外構図)でも、インフォバーを利用した角度指定入力ができます。

外構図の「表示設定」で回転している場合でも、回転後の向きにかかわらず、上記の角度方向になります。

外構図では、補助線の作図モードに (角度長さ)もあり、長さや角度を指定して補助線が入力できます。 (角度長さ)を利用した補助線の入力については、ヘルプをご覧ください。